

## 「さつま町グリーン・ツーリズム研究会」発足

3月16日、「さつま町グリーン・ツーリズム研究会」が町内の農家を中心に有志41人の会員で発足しました。グリーン・ツーリズムとは、都市住民が農村に長く滞在し、さまざまな田舎体験をするもので、都市住民へのゆとり・安らぎへのニーズに応えるとともに、農村においても社会的経済的効果が期待されています。

今回、研究会の会長に二渡区の下下康博さん、副会長に永野区の上別治代さんが選ばれ、グリーン・ツーリズムに関する研究を重ねて行くこととなりました。

研究会の主な活動は、年4会の講演会を兼ねた定例会と各部会活動で、年会費は2千円です。興味のある方は、是非、参加してみてください。

グリーン・ツーリズム研究会事務局  
農政課農政係

内線2422・2423



鹿児島県観光プロデューサー 其田秀樹氏の記念講演

## さつまおごじょ元気会

### 提言書を町長へ提出



話し合いの様子

3月20日、さつまおごじょ元気会（四位恵美子委員長ほか委員50名）は、女性の声を町政に活かしてもらうようと町長へ「提言書」を提出しました。

平成17年9月に発足した「さつまおごじょ元気会」は、これまで5つの分科会（産業経済、保健福祉、教育文化、生活環境、行財政）に分かれ、それぞれのテーマに基づき定期的に話し合い活動や実践活動を展開してきました。今回、日頃から疑問に感じていることなど、女性パワーを発揮し今後のまちづくりへの思いや期待を込めて提言書としてまとめられました。

提言内容や活動状況などについては、今後、広報紙などで詳しくお知らせします。

## ガンバロウ さつま 県北部豪雨災害 復旧・復興へ向けて

### 鶴田ダムの洪水調節に関する検討会

2月6日、ダム下流住民代表やダム下流自治体、学識経験者、報道関係者、河川管理者で組織する「鶴田ダムの洪水調節に関する検討会」が設立されました。

検討会では、鶴田ダムの洪水調節に関する操作方法及び情報提供の在り方について、様々な視点から意見を聴取り、検討することを目的として、それらの検証や見直し、改善策などについて検討がされています。

3月17日には、これまで検討してきた洪水調節の検証や方法、治水対策、情報提供の在り方についての説明と、



第2回鶴田ダムの洪水調節に関する検討会の様子

広く住民から意見を聴取するために、宮之城文化センターで、鶴田ダム洪水調節に関する地域の方々との意見交換が行われました。

参加した住民からは、当時の情報伝達の遅れや予測雨量の情報収集の在り方、雨期の予備放流の開始時期、ダム底の堆砂による洪水調節容量への影響など、様々な意見が交わされました。

ダム管理所は、夏場の洪水調節容量の増量はダム再開発事業で放流施設の増設に取り組むとし、洪水調節方法の見直しや情報伝達の在り方など、今回頂いた貴重なご意見は、検討会で反映していきたいと話しました。



地域の方々との意見交換の様子